

平成 27 年 5 月 20 日

各 位

会社名 グローバルアジアホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 楊 晶
(JASDAQ・コード 3587)
問合せ先 執行役員 中杉 大陸
TEL 03-5510-7841 (代表)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の連結決算において、下記のとおり特別損失の計上をいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の額

合計		1,161 百万円
内訳	固定資産除却損	1 百万円
	貸倒引当金繰入額	723 百万円
	減損損失	172 百万円
	事業譲渡損	10 百万円
	訴訟損失引当金繰入額	39 百万円
	偶発損失引当金繰入額	183 百万円
	債務保証損失引当金繰入額	31 百万円

2. 特別損失の内容

(1) 固定資産除却損 1 百万円

当社連結子会社の株式会社テクノメディア（以下、「テクノメディア」といいます。）において、サービスインフラとしてのソフトウェアを開発、運用しておりましたが、当該サービスの提供を終了し、ソフトウェアを除却したため、固定資産除却損を 1 百万円計上することになりました。

(2) 貸倒引当金繰入額 723 百万円

旧経営陣による新規事業の立ち上げや事業拡大のために実施した施策などに関し、資産性や回収可能性に疑義が生じたこと、また、テクノメディアが有する売掛債権に関して回収可能性を保守的に見直した結果、貸倒引当金繰入額を 723 百万円計上することに

いたしました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、旧経営陣による運送会社への貸付金について、回収可能性を保守的に見直した結果、貸倒引当金繰入額を10百万円計上しております。

(3) 減損損失 172百万円

旧経営陣によるネットスーパー事業の立ち上げのために作成した当社保有ソフトウェア、ベジラボ事業のために当社が保有していた店舗造作や什器備品、テクノメディアののれん未償却残高や固定資産未償却残高、当社連結子会社である株式会社ベジスタが保有する店舗用設備に関して、減損損失を172百万円計上することいたしました。

(4) 事業譲渡損 10百万円

平成26年9月4日付「当社連結子会社の事業譲渡及び事業譲渡損に関するお知らせ」において公表しましたとおり、同日をもってベジラボ事業を譲渡したため、当該事業譲渡に伴い事業譲渡損10百万円を計上することいたしました。

(5) 訴訟損失引当金繰入額 39百万円

コンサルティング会社からの訴訟に対する訴訟費用等として訴訟損失引当金繰入額を39百万円計上することといたしました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、同コンサルティング会社に関する今後見込まれる遅延損害金として、訴訟損失引当金繰入額を3百万円計上しております。

(6) 偶発損失引当金繰入額 183百万円

旧経営陣やそれらに関係する取引先に対して有する当社債権の回収を図るための民事訴訟、並びに、当社が債務として認識していないものの旧経営者陣が借用したとされる金銭に関する返還請求訴訟への対応費用として、偶発損失引当金を183百万円計上することいたしました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、旧経営者陣が借用したとされる金銭に関する返還請求訴訟への追加対応費用60百万円と、旅籠の支配権回復のための訴訟費用13百万円を計上しております。

(7) 債務保証損失引当金繰入額 31百万円

今後当社が履行を求められる可能性が高いと判断する、旧経営陣の関係者の債務に関する保証債務について、債務保証損失引当金繰入額を31百万円計上することといたしました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、1百万円を追加計上しております。

3. 業績に与える影響

本件特別損失が業績に与える影響につきましては、本日公表の「平成27年3月期決

算短信〔日本基準〕(連結)に反映しております。

以上